
平成22年度予算第一特別委員会質問要旨

○ 局別審査

平成22年3月11日

質問者（質問順）

- 1 河 治 民 夫 委 員 (共 産 党)
- 2 斉 藤 達 也 委 員 (自 民 党)
- 3 山 下 正 人 委 員 (自 民 党)
- 4 市 野 太 郎 委 員 (民 主 党)
- 5 石 渡 由 紀 夫 委 員 (民 主 党)
- 6 斎 藤 真 二 委 員 (公 明 党)
- 7 飯 沢 清 人 委 員 (民 ヨ コ)

道 路 局

局 別 審 査

1 河 治 民 夫 委 員 (共 産 党)

1 横浜環状南線関係について

- (1) 本市の果たすべき責任と役割は何か。
 - (2) 計画地は谷埋地に約30m弱の盛土を施した住宅地であり、住民は、地下水の流動や斜面地の崩落の危険性を指摘している。住民の指摘をどのように受け止めているのか。
 - (3) 地下水の影響による地盤沈下や地震対策を行ったうえでの工事計画の検討について伺いたい。
 - (4) 「国土交通省の大規模造成地の変動予測調査ガイドラインに基づく調査はしていない」と地元では言っているが、どのように認識しているのか。
 - (5) 道路整備について、住民との合意を得ることが事業の促進を保証するものと思う。住民が指摘する環境、地下水、地盤沈下、地震などの対策で、東日本高速道路(株)に対し、住民の理解が得られるよう求めるべきと思うがどうか。
 - (6) 住民は問題解決を図るため、車線削減とシールド工法による神戸橋の下越え案を提案し、事業者に歩み寄っている。本市は、住民の立場に立って、調整役の責任を果たすべきと思うがどうか。
- (意見) ネットワークを作るということであれば、下越え案についてどうしてできないのかということも含めて検討すべき。

2 帷子川河川改修事業について

- (1) 河川改修事業の進捗率、整備状況及び整備する上での課題は何か。
たい。
- (2) 旧河川の護岸が老朽化している。安全対策をどのように考えているのか。
また、今宿橋、前山橋の狭い道路、歩道の段差の解消・整備について、どのように考えているのか。
- (3) 神奈川県との協議について一層進めて欲しいと思うがどうか。

2 齊藤達也 委員（自民党）

1 予算全般について

- (1) 国の道路政策に関する予算の状況について伺いたい。
- (2) どのような考え方で道路局予算の編成を行ったのか。
- (3) 今後、道路関連予算を確保するためにどのように取り組んでいくのか、小松副市長に伺いたい。
- (要望) 道路関連事業は市民の安心、安全、福祉の向上、雇用の創出に寄与するものなので、是非引き続き予算確保を要望します。

2 横浜環状道路について

- (1) 圏央道の一部である南線の現状について伺いたい。
- (2) 南線の22年度予算の状況と今後の取組について伺いたい。
- (3) 上郷公田線の現状と今後の取組について伺いたい。
- (要望) 沿線の住民の方の理解を深めていただき、工事に一日でも早く着工して、事業の進捗を指すようお願いします。
- (4) 横浜環状北線の工事の進捗状況と用地の取得状況について伺いたい。
- (5) 用地取得を迅速に進めるため、事業者である首都高速道路（株）はどのような取組をしているのか、また、横浜市としても、どのように協力していくのか伺いたい。
- (6) 工事期間中における、発進立坑周辺の住民に対する環境対策について伺いたい。
- (7) 整備にあたっては、本市の負担が極力少なくなるよう工夫すると聞いているが、馬場出入口の工事費はどのくらいなのか、また、本市の負担額はいくらか、伺いたい。
- (要望) 北線を一日も早く供用開始させるように事業を進めて頂きたいということ
を要望します。
- (8) 今後のスケジュールについて伺いたい。

- (9) 北八朔地区における地権者の対応は、早めにすべきと思うがどうか。
- (10) 北西線の整備について、事業者の立場だけでなく、ユーザーの声も聴くべきと思うがどうか。
- (11) ユーザーからはどのようなニーズがあるのか。
- (要望) 手続を順調に進めて、来年度策定する予定の新たな中期計画についてもしっかり位置づけて、早期事業化に向けた対応を要望します。
- (12) 横浜環状道路の事業推進に向けた考え方について小松崎副市長に伺いたい。
- (要望) 国際競争力の確保のために、国にとっても大事な事業であると認識しています。国に対し一層の財政支援などの働きかけを行い、一日も早い完成を要望します。

3 国道357号について

- (1) 根岸区間の具体的な整備予定について伺いたい。
- (2) 金沢区周辺の整備の状況について伺いたい。
- (要望) 市内未整備区間の整備推進は、横浜港の機能強化とあわせて、沿道にお住まいの市民が安心、安全な生活を送る上で、大変重要な路線です。引き続き早期完成に向けて今まで以上に国に対して強く働きかけを行うことを要望します。

4 幹線道路の整備について

- (1) 平成21年度末の3環状10放射道路の進ちょく状況について伺いたい。
- (2) 山下長津田線鴨居地区西側区間の開通により、どのような整備効果が期待されるのか。
- (3) 東側区間の現在の進ちょく状況及び今後の見通しについて伺いたい。
- (要望) この路線と同時に神奈川区羽沢には東部方面線の新駅が計画されています。山下長津田線鴨居地区と連絡する羽沢池辺線の羽沢菅田地区が整備されることで、新駅へのアクセス向上や周辺のまちづくりにも寄与するものと考えます。引き続き早期完成に向けて努力することを要望します。

5 踏切安全対策について

- (1) 横浜市踏切5箇年整備計画は22年度までであるが、現在までの進捗よく状況はどうか計画調整部長に伺いたい。
 - (2) 22年度の踏切改良整備の予定はどのようになっているのか伺いたい。
 - (3) 志茂踏切の具体的な整備内容と三保踏切の改善の見通しについて伺いたい。
- (要望) 市内には多くの踏切があり、厳しい財政状況下ですが、引き続き、踏切の安全対策に努力することを要望します。

6 地域交通サポートについて

- (1) 小雀地区における実証運行開始から現在までの利用者数の推移について伺いたい。
 - (2) 小雀地区の実証運行で得られたことは何か。
 - (3) その後の検討状況はどうなっているか。
- (要望) 支援策の改善を進めて、1地区でも多く本格運行に繋がるよう努力していただくことを要望します。

7 道路資産の活用について

- (1) 高架下などを活用した財源の確保にどのように取り組んできたのか。
 - (2) 高架下などの有効活用をどのように進めていくのか。
 - (3) 現時点での、実施規模と実施に当たっての課題について伺いたい。
- (要望) 道路本来の利用方法を優先した上で、制度変更を視野に入れて、多くの財源確保が図れる仕組みを構築するよう努力し、市民のニーズを反映した利用方法が実現できるよう要望します。

8 事業全般について

- (1) 道路事業の重要性について局長の所感を伺いたい。
- (2) 「コンクリートから人へ」という考え方について、小松崎副市長に伺いたい。

3 山下正人委員（自民党）

1 横浜新都市交通株式会社の新聞掲載について

- (1) 先月25日に本会議が行われ、若林議員が立たれたわけで、なぜか質問していない項目が新聞紙上に載っていたが、26日の新聞に出た回答は当局の見解とズレがあるのかどうか。
- (2) 当局の見解と間違いはないということなのか。事前の取材があったということ、その翌日の27日に書いてあるが、道路局内で事前の取材を受けたのか。
- (3) 道路局からの事前の取材はなく、市長が答えているということは、市長側から情報提供したのか。
- (4) 情報管理を、今後どうしていくつもりなのか伺いたい。

2 シーサイドラインについて

- (1) 横浜新都市交通株式会社の経営状況についての見解について伺いたい。
 - (2) 初期投資に伴う借入金の残高及び返済状況について伺いたい。
 - (3) 新たな借入金を含めた債務返済の見通しについて伺いたい。
 - (4) 開業前の乗客数見込みと、現在の乗客数の状況について伺いたい。
 - (5) 営業収益を増やすための取組みについて伺いたい。
 - (6) 今後、横浜新都市交通株式会社では、どのような経営改善策を講じていくのか。
- (要望) シーサイドラインは今や市民には欠かせない生活の足になっていますので、更なる経営の改善努力を重ねて、市民の足を守ってほしい。

3 自動車駐車場事業について

- (1) 過去3年間の収支状況について伺いたい。
- (2) 22年度予算案の運営費が約4億2千万円に対して、使用料収入は約4億円と見込んでいるが、収支のバランスが悪いように思うがどうか。

(3) 今後、機械設備の大規模な修繕費用が発生すると思われるが、どのように対応していくのか。

4 橋りょうの長寿命化について

(1) 橋りょうを点検した結果、架替もしくは補修が必要とされた損傷はどの程度の橋りょうを確認したのか。

(2) 21、22年度の橋りょうの架替及び補修に関する事業の実施状況について伺いたい。

(3) 橋りょうの架替えが必要な場合の施工上の課題について伺いたい。

(4) 現在の財政状態を考えた時に、今後の計画に不安が残る。緊急性の高い橋りょう等の選択は行っているだろうが、将来、間引き施工の決断を迫られることは考えられないか。

(要望) 橋梁を施工する際には工期も費用も非常にかかる。限られた財源の中で有効かつ効率的に事業を推進していただきたい。横浜の交通ネットワークが途絶えることのないように充実させていただきたい。

5 街路樹について

(1) 根上がり対策費の削減は何故か。また、どのように事業を進め、当初の目標を達成するのか。

(2) いきいき街路樹事業の実施状況について伺いたい。

(3) いきいき街路樹事業の導入により、街路樹の管理はどのように変わったのか。道路局には、街路樹は道路の付属物との考えを改めてほしいと思うがどうか。

(4) 街並みを整えるにあたって、今後どのように事業を進めていくのか。

(5) みどり税を徴収し始め緑化の推進を図っているが、街のイメージを向上させる景観形成について全市をあげて取り組むべきと思うがどうか。

6 道路清掃について

(1) 道路清掃の内容について伺いたい。

- (2) 車道清掃の頻度と清掃状況の確認はどのように行っているのか。
- (3) 事業者もゴミの分別等や人材確保にも苦勞している。横浜の美しい景観の維持に尽力していることに配慮してほしいと考えるが、清掃事業に関わる事業者から、作業を行う上での要望は出ているのか。
- (要望) きれいな町づくりをするためには事業者の協力は欠かせない。3Kといわれる仕事でなかなか人材の確保は難しいという話も聞いています。事業者の方々の苦勞を理解をした上で、きれいな道路のまちづくりの一端を担う事業者を支えていただきたい。

4 市 野 太 郎 委 員（民主 党）

1 平成 22 年度 道路局 予算 について

- (1) 道路局 予算案 について、局長 の 所感 を 伺いた い。
- (2) 予算 編成 に あたり 工夫 した 点 について 伺いた い。

2 河川 環境 の 整備 について

- (1) この 1 年 を 振り返り、道路局 へ 河川部 が 移管 された こと について、局長 の 所感 を 伺いた い。
- (2) 河川 環境 整備 の 基本 的な 考え 方 について 伺いた い。
- (3) 河川 環境 整備 費 予算 額 の 3 年間 の 推移 について 伺いた い。
- (4) 22 年度 の 河川 環境 整備 費 の 予算 額 が 減少 した 理由 について 伺いた い。
- (5) 本市 にお ける 今後 の 河川 環境 整備 の 進め 方 について 伺いた い。

3 自転車 利用 の 促進 について

- (1) 道路局 では、移動 手段 を 自家用 車 から 自転車 へ の 転換 を 進めて いく ため に、どの よう に して 自転車 利用 の 促進 を 図ろう と 考えて いる の か。
 - (2) 自転車 道 の 整備 促進 を 図る 上 で の、現状 の 課題 について 伺いた い。
 - (3) 自転車 利用 者 が 守る べき ルール について 伺いた い。
 - (4) 行政 と して、これ まで に も 増して 自転車 ルール の 市民 へ の 啓発 活動、周知 が 必要 であり、課題 は 多い と 思う が、道路局 の 考え について 伺いた い。
 - (5) 大規模 な 自転車 駐 車 場 を 有する 駅 周辺 など にお いて は、自転車 道 整備 が 必要 と 考える が、局長 の 見解 を 伺いた い。
- (要望) 自家用 車 から 自転車 利用 へ の 転換 は、「CO-DO30」で 掲げ ている こと であり、その ため の 環境 整備 は 不可 欠 である と とも に、健康 的 で 安全 な 生活 を 送る 上 で、重要 な ポイント である と 思 います。今後 も、市民 の 方々 が 安心 して 自転車 を 利用 できる よう に、一層 の 自転車 ルール の 啓発 活動 や 安全 な 自転車 道 の 整備 など、自転車 利用 の 促進 に向 けて、積極 的 に 進めて いただく こと を 要望 します。

4 舞岡上郷線について

- (1) 舞岡上郷線の暫定整備に至った建設の経緯について伺いたい。
- (2) 仮設のままで20年経過するような状態について、局長はどのように考えているのか。
- (3) 仮設の状態の箇所は、補強・補修を行う緊急性は極めて高いと考えるが、どうか伺いたい。
- (4) この道路について、地域住民の安全確保のため、早急に補強対策を進めるべきと考えるが、どうか伺いたい。

5 地域交通サポート事業について

- (1) 本格運行後の地区における利用状況等はどのように把握しているのか。
- (2) 本格運行開始後に生じた課題について、どのような取組を行っているのか。
- (3) 本格運行後も市として支援をしていくのか。
- (4) 将来的な課題として、高齢者、福祉の視点を加えて、財政的支援も視野に入れて良いと思うが、小松崎副市長の見解を伺いたい。

1 横浜環状南線について

(1) 横浜環状南線の現在の状況について

ア 現在の事業の進ちょく状況について、工事自体は全体のどの程度まで進んでいるのか。

イ 全体として何パーセントくらい進んでいるのか伺いたい。

ウ これまでこの事業に使われてきた費用は合計どのくらいか。そのうち、横浜市の負担はどのくらいか。

エ 昨年、夏に政権が交代したことを受けて、横浜環状南線の事業を取り巻く環境の変化は何か。

オ 改めて横浜環状南線の必要性について伺いたい。

カ 当初計画した時期から既に20年程度が経過しているため、渋滞の状況など、当時とは変化していると思うがどうか。

キ 事業の進ちょくが遅れている理由について伺いたい。

ク この結果を受けて、道路局としてはどのような感想を持っているのか。

(2) 横浜環状南線に対する今後の進め方について

ア 環状南線の建設に対する横浜市民の意識、また、沿線の地元住民の意識について、どのようにとらえているのか。

イ 庄戸地区の住民が主張している内容について、把握している範囲で伺いたい。

ウ 今後、地元住民の理解を得るための方策について、どのように考えているのか。

(要望) 横浜市民全体からみれば、賛成が多数で反対が少数だとしても、少数意見を排除することなく、最後まで理解が得られるよう精一杯取り組むことが求められています。地元住民との話し合いを骨惜しみすることなく、ひとつひとつ解決できるようお願いします。

1 都市計画道路の整備について

- (1) 全国を代表する三大都市、横浜市、名古屋市、大阪市の都市計画道路の整備率はどうなっているか、また、本市の整備率はこの10年間で、どのくらい伸びているのか。
- (2) 「都市計画道路網の見直しの素案」に基づいた個別路線の取組状況を伺いたい。
- (3) 厳しい状況の中で、都市計画道路の整備をどのように進めていくのか。

2 都筑区南部の道路整備について

- (1) 都筑区南部の都市計画道路整備の状況について伺いたい。
 - (2) 都市計画道路の整備効果について伺いたい。
 - (3) 都筑区南部の「駅まで15分道路整備事業」の取組状況とその整備効果について伺いたい。
 - (4) 現在、都筑区南部で道路局が進めている「都市計画道路」や「駅まで15分道路」の整備区間に加え、さらに周辺の未着手の都市計画道路や既存道路の改良整備を進めることにより、大規模商業施設周辺の渋滞も解消されると思うが、どうか伺いたい。
- (要望) 地域要望も強く、区の土木事務所においても整備交差案が検討されていることなので、是非、積極的な支援をしてもらいたい。

3 横浜環状道路北西線について

- (1) 北西線の環境影響評価準備書の説明会の状況はどのようであったのか。
 - (2) 準備書に対する意見書の提出数が少ないことについての考えはどうか伺いたい。
 - (3) 整備において、どのような環境配慮を考えているのか。
 - (4) 今後どのように地域住民に情報提供していくのか。
- (要望) 広報紙について、事業の節目だけの発行ではなく、途中段階でも市民か

らみて適切な間隔で発行をしてほしい。

4 都筑区内の歩道拡幅事業について

- (1) 都筑区内で進めている歩道拡幅事業における基本的な考え方を伺いたい。
- (2) 都筑区のどこで事業を進めているのか、また、整備状況について伺いたい。

5 都筑タウンセンター周辺地区のバリアフリー基本構想について

- (1) 今後、どのようにバリアフリー基本構想を策定していくのか。
 - (2) 今後の進めかたについて伺いたい。
 - (3) タウンセンター周辺地区の生活関連経路の特徴は何か。
 - (4) 地区内でバリアとなっている箇所はどう抽出したのか。
 - (5) 点検等で出た課題に対し、どのように整備を進めるのか伺いたい。
 - (6) 基本構想で「今後、機会を捉えて整備を検討」とされている事業があるが、その多くは安全に関するもので、結果として安全を後回ししていることにはならないか。
 - (7) 地区内のサインをどのように整備していくのか。
- (要望) タウンセンター周辺地区は、これまでの基本構想で最大級の規模で、グレードの高い舗装が多いことから、これらを整備するには費用が相当かかると思います。十分に予算を確保し、子育てしやすいまちづくりの観点から着実に整備が進むよう要望します。

6 放置自転車対策について

- (1) 昨年11月に実施した自転車等の放置状況調査の結果について伺いたい。
- (2) 放置が減少した理由についてどのように把握しているのか。
- (3) 放置自転車等の移動、保管、返還等の流れ及び実績について伺いたい。
- (4) 引き取り手のない自転車について、スクラップ処分ではなくリサイクル自転車としての活用を増やしていく工夫をしているのか。

7 道路施設を活用した広告等による収入確保について

- (1) 新たに21年度に行った事業は何か。また、21年度の歳入予定額はいくら

か。

(2) 22年度はどのような事業展開を予定しているのか。

(3) 広告等の事業を展開する上での課題は何か。

(要望)「道路占用許可基準」に規定されているように、道路交通の安全及び道路の環境整備の観点を十分に確保しつつ、関係機関の円滑な協力を仰ぎつつ、引き続き財源確保のために、広告等の事業の展開を図っていただきたいと要望します。

1 交通安全について

- (1) 機構改革の当初の目的と現時点での評価はどうか。
- (2) 市内の21年の交通事故発生状況はどうだったのか。
- (3) 幹線道路における交通安全対策は、どのようなものがあるのか。
- (4) 市内の幹線道路において、歩道上の歩行者が巻き込まれるような重大事件事例を把握しているか。
- (5) 幹線道路の交差点付近における歩行者の交通安全対策をどのように進めていくのか。

(要望) 道路局は道路の維持管理が中心となっており、交通安全対策は待ちの姿勢のように思う。今後は、攻めの姿勢で積極的に、交通安全対策に取り組んでいただきたい。

2 自転車走行環境の整備について

- (1) これまでの自転車走行環境整備の実績について伺いたい。
- (2) 22年度の整備内容について伺いたい。
- (3) 自転車走行環境整備について今後どのように進めていくのか伺いたい。

(意見) 自転車専用レーン等の整備は、10年後、15年後の計画を立て、市民に実感していただくためにも、1区1箇所程度の自転車道の整備を行うようにしたらどうか。

3 横浜市生活交通バス路線維持支援事業について

- (1) 維持路線の指定基準をどのように路線を選定したのか伺いたい。
- (2) 維持路線の現状と課題について、どのように認識しているのか伺いたい。
- (3) 課題解決のための横浜市の具体的な取組について伺いたい。